

表面

記入上の注意と記入例

1 遺族年金 未支給 一時金

1 配偶者・子以外用 様式4

生計同一関係に関する申立書

2 生計同一関係にあったことの申立

申立年月日：令和 X 年 XX 月 XX 日 ※ この申立書の記入日を記載してください。

私と下記②の者は、下記②の者が亡くなった当時、生計を同じくしていました。

① 請求される方の住所、氏名

住所 東京都杉並区高井戸西X-X-X〇〇マンション50X号室

氏名 年金 一郎

② 亡くなった方（被保険者、被保険者であった方）の住所（亡くなった当時）、氏名

住所 東京都杉並区高井戸西3-5-24

氏名 年金 太郎 ③ (①との続柄：兄)

4 上記①・②の方の状況に応じて、次の1、2のいずれか1つに○を付した上で、必要事項を記載してください。

1. ①と②は、住民票上は別住所でしたが、実際は同居していました。

【住民票上、別住所となっている理由を以下に記載してください。】

(1を○で囲んだ場合)

「兄の介護に伴い、兄の自宅で同居していたが、住民票上の住所は異動させていなかった」等

2は裏面へ

裏面へ続く

1 様式に誤りがないか確認してください。

2 申立年月日は死亡日以降の日付を記載してください。

3 請求される方からみた続柄（兄、姪など）を記載してください。

4 1、2（「2」は裏面）のいずれか1つを○で囲み、必要事項を記載してください。

遺族年金

未支給

一時金

配偶者・子以外用

様式4

5

2. ①と②は、別居していました。また、住民票上も別住所でした。

【経済的援助の状況について、以下に記載してください。】

②（亡くなった方）から①（請求される方）に対する経済的援助（あり **なし**）
 経済的援助の回数（年・月 約 _____ 回程度）
 経済的援助の金額（年・月 約 _____ 円程度）
 経済的援助の内容

◎ 上記の経済的援助が「なし」の場合は、以下に記載してください。

①（請求される方）から②（亡くなった方）に対する経済的援助（あり **なし**）
 経済的援助の回数（年・月 約 **3~5** 回程度）
 経済的援助の金額（年・月 約 **〇万** 円程度）
 経済的援助の内容

「毎月〇万円口座に振り込みしていた」、
 「月〇回程度、日用品や食料品を購入していた」、
 「施設入居費用を支払っていた」等

第三者による証明欄

※ 生計同一関係証明書類を提出している場合は記入不要です。

7

上記の事実と相違ないことを証明します。

また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

8

証明年月日：令和 X 年 XX 月 XX 日 ※ 表面の申立日（記入日）以後に証明してください。

9

住所 **東京都杉並区高井戸西X-X-X 特別養護老人ホーム〇〇**

氏名 **施設長 高井戸 三郎** 電話番号 **03 - XXXX - XXXX**

※ 法人（会社、病院、施設等）・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名を記入してください。

日本年金機構理事長 様

5

経済的援助には、現金によるものだけではなく、食事・介護の提供、生活必需品購入などの現物によるものを含みます。

<例>

衣類、洗面用品、お菓子、果物等

6

②（亡くなった方）から①（請求される方）に対する経済的援助が「なし」の場合は、直下のカッコ欄に記載してください。

7

第三者による証明は、請求される方・亡くなった方のどちらから見ても三親等内の親族ではないことを確認してください。

8

表面の申立年月日（記入日）以降の日付を記載してください。

9

法人・個人商店として証明する場合は、「所在地・名称」及び証明者の「役職名」と「氏名」を記載してください。